

令和7年度秋季 議会報告会

1班	10月23日	口名田地区	P 1～P 3
	10月31日	西津地区	P 4～P 5
	11月13日	中名田地区	P 6～P 7
2班	10月23日	遠敷地区	P 8～P 9
	10月31日	内外海地区	P 10～P 12
	11月13日	加斗地区	P 13～P 16
3班	10月23日	今富地区	P 17～P 18
	10月31日	小浜地区	P 19～P 21
	11月13日	国富地区	P 22～P 24
4班	10月23日	松永地区	P 25～P 26
	10月31日	宮川地区	P 27～P 28
	11月13日	雲浜地区	P 29～P 30

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月23日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	口名田コミュニティセンター		
出席議員	1班 / 小澤長純、佐野達也、竹本雅之、東野浩和、世戸玉枝		
参加者(市民)	19名		
報告事項	司会・班長：小澤長純 報告者：(北陸新幹線小浜・京都ルートについて) 佐野達也 (地域公共交通の今後について) 東野浩和 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの意見・要望内容	参加者	新幹線のルート決定が進まない中で、駅位置を決めてと要望しても、絵に描いた餅ではないか。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	国には、早急に整備委員会を開催し、小浜・京都ルートでの認可・着工、駅位置を決定してもらいたいと考えている。そうではないと令和8年度予算にも間に合わない。	
	参加者	京都市民に対して、国交省の説明が不十分ではないか。	回答どおり
	議会	地下水については国が調査を行って問題がないことを示している。財政状況が厳しい京都にとっては新幹線にメリットが感じられず、反発が大きいのだと思う。だが、着工が遅れば費用も膨れ上がる。小浜市議会としては、一日も早い着工を強い気持ちで要望していく。	
	参加者	この会場の後方に、子供たちが新幹線の夢を乗せて作った工作が並んでいる。その子供たちが新幹線を利用できるよう、20~30年後には開通してほしい。	回答どおり
	議会	その気持ちは皆さんと同じである。	
	参加者	京都府民・市民の理解を得るといのは誰の判断になるのか。	回答どおり
	議会	最終的には、京都府知事と京都市長の2人が府民・市民の意見を基に判断される。	
参加者	京都が反対なら、とにかく大阪に行けるように考えては。	回答どおり	
議会	今後の与党プロジェクトチームでの決定が非常に重要で、三つのルートを再検討することなので、とにかく早く検		

		討してもらうことが重要だ。	
参加者		以前は商店街も景気が良かったが、現在は空き家が増加し、雇用機会も減少している。工場建設の計画はあるのか。空き家対策はどのように進めているか。	
議会		新平野に県の産業団地の整備が決まった。働く場も出来るし、地域の活性化、経済効果も上がると期待している。空き家対策は喫緊の課題であるが、田舎暮らしに憧れを持つ方も多いと聞いている。そのような方にしっかりと情報を届けることが重要である。	回答どおり
参加者		チャンネルOで一般質問を見ていると、質問しない議員もいる。各地区のことなど多くの問題があると思うが。	
議会		地区の課題については、やはり地区の役員から要望していただくことが重要である。議員は、市民全体の代表なので、小浜市政に関して質問するというのが基本だ。	回答どおり
参加者		公共交通について、「まちまで乗せてほしい」「分かった」といったやり取りをして乗せてもらったことを登録して、安価で移動できるということはできないか。	
議会		まさに、この提言で示している内容である。視察に行った所では、市が車を用意して地区が運営し、料金はもらうが不足分は市から補助するという形でやっていた。懸念されるのは、取り組みを継続できるかどうかという点である。	回答どおり
参加者		有償でも認可はおけるのか。事故対応や保険関係の手続きが難しいのか。	
議会		昔は事業者でなければ運行できなかったのが、自治体ライドシェアという形で可能となった。保険も市からの委託の形でできるのではないか。大事なことは、移動手段がなくて困っている方がどれぐらいいるか、どういう交通を望んでいるかを正確に把握していただき、地区全体で検討してもらいたい。また、話がまとまったら市に相談してもらいたい。	回答どおり
参加者		国道 162 号の改良についての情報を聞きたい。	

	議会	<p>湯岡橋から尾崎までの道路拡幅が事業化された。拡幅区間を尾須ノ鼻まで伸ばしてほしいと、市からも要望している。口田縄の信号から上中井までの部分は拡幅が事業化されている。また、東相生は、舞若道の4車線化の残土を活用しての整備が考えられている。以前からバイパス道路の新設の案もあるが、大きな事業になるので進んでいない。口名田と中名田の期成同盟会が一生懸命要望している。東相生の道路は狭く、荒れており、大型車トラックが増えれば更に危なくなる。地元から声を上げていただきたい、議会としては、それを後押ししていく。</p>	回答どおり
--	----	---	-------

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第1班 班長 小澤長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月31日(金) 19:30 ~ 20:45		
会場 / 地区	西津コミュニティセンター		
出席議員	1班 / 小澤長純、竹本雅之、東野浩和、世戸玉枝		
参加者(市民)	13名		
報告事項	司会・班長：小澤長純 報告者：(北陸新幹線小浜・京都ルートについて) 竹本雅之 (地域公共交通の今後について) 東野浩和 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	新幹線について、市議会としてどのように盛り上げようとしているのか。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	嶺南が一体となって要望することが重要であり、嶺南市町の議会と連携して要望している。	
	参加者	北陸新幹線の早期全線開業に向けて活動されていることが市民に伝わっておらず、盛り上がりには欠けるのではないかと。もっと市民一人一人に伝えるような活動をしてほしい。	回答どおり
	議会	小浜商工会議所や若狭青年会議所も組織をつくって頑張っておられる。協力して一体となって盛り上げていきたい。	
	参加者	新幹線の越前たけふ駅周辺には公共交通機関がない。新幹線小浜駅が出来たとして、公共交通がほとんどない所にできると思うので、バスが走っていない駅がどうなっているかを見ておいてはどうか。	回答どおり
	議会	これからの活動の参考にする。	
参加者	デマンド交通について、利用者の多くが高齢者だということを考えると、スマートフォンでの予約ができない方がいることが想定される。聴力が低下している人は、電話での予約も難しい。高齢者に配慮した予約方法を考えてほしい。	回答どおり	
議会	デマンド交通を実施する場合には、実施主体はまちづくり協議会などになることが想定され、予約の取り方も実施主体が考えることになる。議会が視察した自治体では、スマートフォンと電話で予約を受け付けていた。		

	参加者	先日、福井県原子力総合防災訓練が小浜市で実施された。避難する住民は速やかに自家用車で所定の場所に向かうようにという指示だったが、交通弱者はどうするのか。市だけでは力不足なので、区長と区の防災委員で対応してほしいと、市から丸投げされたという話も聞くが、いかがなものか。	
	議会	防災は、自助・共助・公助の役割分担の考え方がされており、市に頼りきりになってはならない。自分のまちは自分たちで助け合ってつくる、活動を推進するという目的でまちづくり協議会が出来た。要配慮者の避難については各区長から個別避難計画が市に提出されており、市は計画どおり避難するようお願いする立場である。避難の際に何かあった場合でも、住民の皆さんに責任を取っていただくことはまずない。区や地区でできるだけのことをやってもらいたいと、協力をお願いする趣旨だ。	行政に伝える
	参加者	あいあいバスの廃止は検討しているのか。	
	議会	あいあいバスは非常に重要な交通機関であり、議会が提言したのは、地区内からあいあいバスにつなぐ方法だ。あいあいバスをなくすことはできないと考える。	回答どおり
	参加者	西津橋・大手橋の架け替えはいつ完了するのか。工期が2年延長されると聞いた。	
	議会	令和9年度中の完了予定に変わりはなく、順調に進んでいると聞いている。簡易歩道や城内橋の撤去に2年ほどかかるようであり、そのことを言っているのではないか。	回答どおり

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第1班 班長 小澤長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年11月13日（木） 19：30 ～ 20：30		
会場 / 地区	中名田コミュニティセンター		
出席議員	1班 / 小澤長純、東野浩和、佐野 達也、世戸玉枝		
参加者（市民）	13名		
報告事項	司会・班長：小澤長純 報告者：（北陸新幹線小浜・京都ルートについて）佐野達也 （地域公共交通の今後について）東野浩和 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	まちづくり協議会等が地域公共交通の運行を担い、移動手段を考え、運行するという事か。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	小浜市も実証実験を行っているが、やはり、地域の細かなニーズは地域の人が一番理解されている。市が運行主体になるのではなく、地域が運行主体になるのがベストだと提言している。	
	参加者	お金は市が出して、地域はそれを運行するという事で理解したらいいのか。	回答どおり
	議会	そのとおりである。運転手の人件費を含む全ての運行費用から、運賃収入を差し引いた額を市が負担するという形が想定される。	
	参加者	何年後から始めるとか、目標は出ているのか。	回答どおり
	議会	あくまで地域が主体である。地域でやるかやらないかを話し合っ、市はその時々々にフォローする。情報収集に努め、説明会を開きながら前に進めていく。最終的には地域が判断するものである。	
	参加者	中名田、口名田地区では、中学や高校の通学にバスを利用しているが、学生の通学について考えているのか。	回答どおり
	議会	あいあいバスを一番利用されているのは学生で、あいあいバスは主要幹線には残さないといけない。交通空白地というのは、公共交通機関が走っている幹線までの地域の範囲になる。中名田地区では既に実施されており、中名田診療所の送り迎えをボランティアで運行されている。内外海地区も検討され	

		<p>ているが、あとは、各地区でどのような交通が必要か、市街地外では交通で困っている方はたくさんいるが、そういう方の移動手段をどう確保するか、地区全体で考えていくことだと思う。</p>	
参加者		<p>自家用有償旅客運送というのは、まちづくり協議会が運営し、地域で運転手を登録して、利用者から連絡があったら誰か空いている人を派遣してもらえんというのをイメージしているが、どうか。</p>	
議会		<p>そのとおりである。ただ、この内容は議会が提言したことであり、最終的に事業として実施するかを判断するのは市である。地区から声を上げてもらって、実施したいと市に話を持っていくとよいと思う。その中で、議員を利用するのがよいと考える。</p>	回答どおり
参加者		<p>地区から要望を出すのは、市から各地区で検討してくださいということになるのか。それとも、今、議会から聞いたので、地域で集まって話し合おうということになるのか。区としてはどうしたらいいのか。</p>	
議会		<p>この報告会で報告させてもらったことをきっかけにしていたけるとありがたい。あいあいバスには昼間、乗客がほとんどいないが、それに市は1億円も出費しており、運行の方法を見直す必要がある。あわせて、特に市街地外の方が日々の移動手段の確保をどうするかが市の大きな課題であると提言したので、あとは地域が一体となって考える必要がある。</p>	回答どおり
参加者		<p>2日前の新聞報道で、中名田保育園が閉園になると知った。それも、在園児が10人未満になると閉園になるということを新聞で知ってから1年もたっていない。情報の伝達が遅い気がする。</p>	
議会		<p>ご意見があったことを行政に伝える。</p>	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第1班 班長 小澤長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月23日(木) 19:30~20:45		
会場 / 地区	遠敷コミュニティセンター		
出席議員	2班 / 池尾正彦、藤田靖人、岡泰宏、浦谷梨華子		
参加者(市民)	27名		
報告事項	司会・班長：藤田靖人 報告者：(北陸新幹線小浜・京都ルートについて) 池尾正彦 (地域公共交通の今後について) 岡泰宏 書記：浦谷梨華子		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	北陸新幹線の新駅は東小浜駅付近ではなく、少し離れた場所になると聞いたが、在来線への乗換えができる駅の方が利便性が高いのではないか。	【今後の対応】
	議会	小浜インターチェンジからJAまでの間の辺りに建設予定と聞いている。新駅は在来線と併設されることが望ましいと考えている。	回答どおり
	参加者	北陸新幹線に関する近隣自治体の取組状況は。	
	議会	嶺南6市町議会が足並みをそろえて令和7年10月に、国に対して「北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書」を提出した。今後も嶺南自治体一丸となって取り組んでいく。	回答どおり
	参加者	東小浜駅から南進して国道へ進入する交差点には、右折レーンが設置されていない。交通量が非常に多く、右折レーンの設置について区民から要望が出ている。検討をお願いしたい。	
	議会	担当課に伝える。	行政に伝える
	参加者	令和4年に実施されたデマンド交通の実証実験に関して肯定的な意見があった。それを踏まえて、今後の方針およびスケジュールはどのように整理されているのか。	
議会	令和7年9月定例会でタクシー活用実証事業と市街地循環バス実証事業に関する補正予算を可決した。タクシー活用実証事業は令和7年11月から令和8年2月まで、市街地循環バス実証事業は令和7年10月から令和8年2月までを実証期間としている。この実証事業を通して課題を抽出し、今後の市における最適な交通施策を検討すると聞いている。	回答どおり	

参加者	空き家対策について、議会としてどのように考えているのか。地域内にはツタが繁茂している空き家があり、課題となっている。相談窓口の周知および体制整備に向けた取組みを強化してほしい。	
議会	令和4年の「空き家対策に関する提言書」において、空き家の適正管理や市場流通の更なる促進など、利活用施策の積極的な実施について市に提言している。今後も根気強く市に伝えていく。	回答どおり
参加者	農作物が鳥獣被害を受けることで、営農意欲が低下している。ある自治体ではガバメントハンターなどで獣害対策をしているという。小浜市ではどうなのか。	
議会	第6次総合計画に記されている「鳥獣害対策」に基づき、毎年度予算を計上し、事業を実施している。猟友会と市が連携して取り組んでいる他自治体の先進事例を参考にしながら、議会の中でも協議していきたい。	回答どおり
参加者	学校統合についての検討状況はどうなっているのか。	
議会	学校統合に関しては、9月議会の一般質問において、小浜美郷小学校の統合の検証が必要であると答弁しており、迅速に統合を進めるといった答弁はなかった。今後も、議会の中で議論を尽くしていく所存である。	回答どおり
参加者	県外へ進学後、Uターンしない若者が多く、市内の若者が少なくなっているのを感じる。地元で若者が定着するための企業誘致について、どのように進めていくのか。	
議会	県営産業団地にどのような企業が進出するのかといった情報は、まだ把握していない。議会でも、U・Iターン者が増え、県外へ転出する若者の減少やU・Iターン者の増加を図るため、若者が活躍できる企業の誘致などについて提案できるよう努めていく。	回答どおり

令和7年 12月18日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第2班 班長 藤田靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月31日（金） 19：30～20：45		
会場 / 地区	内外海コミュニティセンター		
出席議員	2班 / 池尾正彦、藤田靖人、岡泰宏、浦谷梨華子		
参加者（市民）	14名		
報告事項	<p>司会・班長：藤田靖人</p> <p>報告者：（北陸新幹線小浜・京都ルートについて）池尾正彦 （地域公共交通の今後について）岡泰宏</p> <p>書記：浦谷梨華子</p>		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	舞鶴市議会では「北陸新幹線小浜・京都ルートを見直し、京都府北部ルートを再考することを求める決議」が賛成多数で可決されているが、新幹線整備の進捗状況は。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	内外海地区では、コミュニティセンター長が中心になり、署名活動に大変力を入れていただいていることに感謝している。着工に向けて政治的な決断が必要な局面であり、市議会としては「小浜・京都ルートで必ず着工する」という熱意を全議員が持ち、国への要望を重ねている。	
	参加者	「小浜市の人口の推移および高齢化率」のグラフを見ると、1980年から2030年の間に約1万人減少しており、内訳として生産年齢人口の減少が著しい。生産年齢人口の増加を図らなければ、市は活性化しない。企業が市に納付する税収の増加につながる取組みを強化すべきだと思う。	回答どおり
	議会	嶺南地域の議長会では、日本の総人口の約3割が東京圏に集中している現状を踏まえ、その分散策の一つとして北陸新幹線の整備が有効であるとの認識で一致している。敦賀市から高浜町までの各議会が一丸となって要望活動を行っている。	
参加者	バスの利用者が少ない要因として、集落からバス停までの距離が遠いことが挙げられ、利用したくても利用できない住民がいる集落が複数あると認識している。可能であれば集落の入り口まで運行経路を延ばし、利便性の向上を図ってほしい。一筆書きで走れる所や方向転換しなくてもいいルートを優先していると聞いたことがあるが、あいあいバスの運行規定にはどのような項目があるのか。		

議会	運行ルートの細かい規定までは把握していない。担当課に伝える。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
参加者	大阪市に向かう高速バスわかさライナーの運行が終了し、不便に感じている。北陸新幹線小浜・京都ルートが整備されるまでの間、関西圏と小浜市との間の交通が充実するよう働きかけをしてほしい。	
議会	議会としても何か方策を考えるよう努める。	回答どおり
参加者	現在建設中の大手橋・西津橋は、令和9年度に完成するのか。特に朝はこうのとり大橋で渋滞が起こるので、大手橋・西津橋を一日でも早く完成させ、渋滞緩和を図ってほしい。	
議会	今年8月に福井県嶺南振興局と小浜土木事務所から、令和9年度中に完成するとの説明を受けている。	回答どおり
参加者	中学校の部活動の地域移行が進む中で、学校での部活動がなくなった場合、これまで部活動に参加していた生徒が地域クラブに入会せず、競技から離れてしまうのではないかと不安に思う。また、活動の場を持たない生徒が増えるのではと心配だ。	
議会	今後の国の動向を確認した上で、保護者の負担や指導者への手当なども含めて注視していきたい。	回答どおり
参加者	阿納尻から加尾・西小川へ通じるトンネル整備について、現在の進捗状況はどうなっているのか。	
議会	トンネルは市道であり、測量設計業務や用地買収など着実に進んでいる状況と聞いている。	回答どおり
参加者	国道162号をはじめとする道路では、のり面排水機能が働いていない箇所が多く見受けられ、側溝に土砂や草木がたまり、大雨のときには土砂が道路へ流入するおそれがある。災害後の復旧だけでなく、道路の長寿命化を目的とした計画的な維持管理や修繕工事を進めるべきではないか。また、草刈りや側溝掃除が年1回程度に限られており、地域住民が堆積物を撤去している現状に配慮し、予算措置を含めた対応をお願いしたい。	

議会	地区から市に対して要望を出してほしい。この件に関しては 県道や国道をはじめ、市内全体の道路の状況を注視していく とともに、議会でも議論したい。	行政に伝える
参加者	熊の出没の件について、もし近くで熊が出たときは市役所が 対応してくれるのか。	
議会	熊の出没時には、市から防災メールにて情報が届く。目撃した 場合には、市の農林水産課か警察に通報すれば、市が猟友会と 連携して対応すると聞いている。	回答どおり

令和7年12月18日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第2班 班長 藤田靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年11月13日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	加斗コミュニティセンター		
出席議員	2班 / 池尾正彦、藤田靖人、岡泰宏、浦谷梨華子		
参加者(市民)	17名		
報告事項	<p>司会・班長：藤田靖人 報告者：(北陸新幹線小浜・京都ルートについて) 池尾正彦 (地域公共交通の今後について) 岡泰宏 書記：浦谷梨華子</p>		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	新幹線駅を小浜市に設置することで、どのようなメリットがあるのか。ルートを決める時期はいつ頃か。また、小浜・京都ルートに決まる見込みはあるのか。	【今後の対応】
	議会	認可・着工に至っていないため完成年は未定であり、報道にあるとおり、完成までには20年余りを要するものと認識している。議会としては、小浜・京都ルートの日も早い着工を目指し、要望活動等に取り組んでいる。大阪まで全線開業した場合、近畿圏への通勤・通学が可能な範囲となることから、定住人口の増加を図るまちづくりと観光振興の両面から検討されている。正式な駅位置やルートが公表されておらず、着工にも至っていないことから、取組は進んでいない。詳細が決定すると、新幹線を見据えたまちづくりの議論が更に活発になると考えている。	回答どおり
	参加者	小学校や中学校の統合の話はどうなっているのか。	
	議会	小浜美郷小学校の開校から約6年が経過しているが、外部の有識者の意見を踏まえた再検証を行い、「小浜市教育振興基本計画」に沿って今後の統合計画の方針案を作ると聞いている。	回答どおり
	参加者	新幹線は、移動時間を短縮できる一方、運賃が高額である。小浜線に快速電車が走るといったことが早期に実現していれば、人口増加につながっていたのではないか。将来を担う子供たちのためにも、今後は早期に取り組む必要がある。	
	議会	現状を打開していくために、北陸新幹線の全線開業早期実現に向けて、議会としても一丸となって取り組んでいく。	回答どおり

参加者	新幹線が小浜市を通ることによって、地元住民にどのような恩恵がもたらされるのか。	
議会	メリットの一つとして、固定資産税が納付されることで市の財政に寄与し、住民福祉の向上につながると考えられる。また、定住人口が増えることで、市税収入の増加や地域経済の活性化につながると考えているが、県営産業団地への企業誘致の件も含めて、市民の皆さまと行政、議会が協力してまちづくりについて考えていくことが大事であると考えます。	回答どおり
参加者	農業集落排水の使用料が高額であることが、定住促進の課題となっているのではないかと。小浜の市街地と中山間地との負担の格差について、不公平感の解消に向けた議論を進めてほしい。また、人口減少対策について、単なる移住促進だけでは、全国的な少子化対策にはならない。子供を産み育てやすい社会を実現するため、市としても国任せにせず、主体的に議論し、施策を進めていくべきだ。	
議会	少子化対策については、地域間で人口を奪い合う現状を課題だと捉えており、国全体で子供が増える社会を目指す必要がある。その一方で、新幹線整備なども地域活性化や定住促進の一つの起爆剤になり得るとして、通勤支援等の補助制度も含め、議会として前向きに議論していきたい。	回答どおり
参加者	北陸新幹線について、中央への要望だけでなく、京都の議会関係者や住民に対する意見交換や働きかけなど、理解促進に向けた具体的な取組みは行われているのか。	
議会	コロナ禍前には京都市会と意見交換をしたことがあるが、コロナ禍以降、県外の議会との意見交換は行っていないのが現状である。今後、政治的動向を注視しつつ、近畿圏における理解促進に向けて取組みを進めたい。	回答どおり
参加者	人口増加を図るためには、新幹線着工までの期間に、働く場を創出するなど、魅力あるまちづくりを進める必要があると思う。企業誘致などによる雇用創出を含め、市全体が活性化するための目玉となる施策を検討・推進してほしい。	
議会	雇用創出など人口増加につながる施策や仕組みについて、今後委員会の中で調査・研究を行い、検討する。	回答どおり

	参加者	<p>中山間地域における熊や猿などの鳥獣出没により、子供の通学時の安全確保が困難な状況になっている。そのため、送迎対応が必要となり就労形態の変更を余儀なくされる保護者もいることから、通学時の安全対策について検討してほしい。また、市内には専門性を生かすことができる就職先が少なく、特に女性が地元に戻りにくい現状があると思う。女性の視点に立った雇用環境や子育て環境の整備が、人口減少や未婚化の解消につながると思う。</p>	
	議会	<p>担当課に伝える。</p>	<p>行政に伝える</p>
	参加者	<p>タクシーを活用した移動支援の実証事業について、案内が届いていない家庭にはコミュニティセンター長や各区長から個別にモニターの声掛けをした。市全体として何人のモニターが集まったのか。また、交通弱者に即した制度設計をしてほしい。公共バスで、加斗から雲浜地区の医療機関を受診できるよう配慮するとともに、実効性のある交通手段を確保してほしい。</p>	
	議会	<p>担当課に伝える。</p>	<p>行政に伝える</p>
	参加者	<p>区長宛てに送付される市からの文書について、提出期限までが極めて短いケースが多く、対応が困難となっている。区長の負担軽減のため、文書の発送時期や締切りの設定、周知方法を改善してほしい。</p>	
	議会	<p>担当課に伝える。</p>	<p>行政に伝える</p>
	参加者	<p>近年、熊に限らず猿やシカ等の鳥獣出没について、実際に目撃に至っていない場合であっても、区内において動物による樹木の引っかき傷、足跡などが確認されている。特に、保育園や学校周辺を徘徊する事例も見られ、児童等の安全が守れるのかが懸念される。特に猿については、人に慣れて逃げない状況が見られ、被害の拡大や将来的に人身被害を招くおそれがある。また、農作物被害により就農意欲が低下して畑作業を断念せざるを得ない方や、それに伴って認知症が進行する方もいる。調査にとどまらず、実効性のある鳥獣害対策は進められているのか。</p>	

議会	担当課に伝える。	行政に伝える
参加者	まちづくり協議会（夢協）に対する市の活動補助金が年々減少しており、地域活動の継続や新たな取組みの実施が困難となっている。また、補助金の交付額や枠数が計画策定後に変更されるケースがあり、事業計画を立てにくい。人口減少が進む中で、地域活動を持続可能とするための支援の在り方について、改善を求める。	
議会	担当課に伝える。	行政に伝える
参加者	障がいのある子供の放課後の居場所について、学童保育や放課後等デイサービスが不足しており、特に特別支援学校に通う子供が利用できない現状がある。障がいがある子供を一般の学童に預けることはできないのか。両親のいずれかが正社員からパート勤務に変わるなど、就労形態の変更を余儀なくされており、家庭にとって大きな負担となっている。障がいのある子供が地域の学校などで支援を受けながら障害のない子供と共に過ごすインクルーシブ教育の理念が尊重されておらず、選択肢が十分に確保されていないと感じる。加配職員の配置などによる受入れ体制の整備を含め、改善してほしい。	
議会	担当課に伝える。	行政に伝える

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第2班 班長 藤田靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月23日（木）19：30～21：00		
会場 / 地区	今富コミュニティセンター		
出席議員	3班 / 下中雅之、牧岡輝雄、川代雅和、上野一		
参加者（市民）	33名		
報告事項	司会・班長：下中雅之 報告者：（北陸新幹線小浜・京都ルートについて）川代雅和 （地域公共交通の今後について）上野一 書記：牧岡輝雄、上野一		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	デマンド交通とは、どういうものなのか。	【今後の対応】 回答どおり 回答どおり 回答どおり 回答どおり <u>行政に伝える</u> <u>（回答を求める）</u>
	議会	バス停を巡回するバスやタクシーでなく、予約して乗り合う交通手段である。	
	参加者	デマンドは、いつ頃から定着した言葉なのか。	
	議会	言葉自体は以前からある。	
	参加者	J R小浜線について、並行在来線に該当しないことを明確にすることを要望されているが、反応はどうか。	
	議会	小浜線が並行在来線ではないと確認してもらうため、要望事項に入れている。	
	参加者	地域公共交通の今後について、県内でも自動運転を実施している自治体もあるようだが、本市でも検討しているのか。	
	議会	まだ検討していない。	
参加者	生守の雨水貯留施設の公園事業について、以前の説明会で遊具設置について質問した際、公園完成後に考えるとの回答だったが、トイレの設置はどうなるのか。		
議会	地元と協議しているところであるので、この質問に関しては行政に届ける。		
参加者	あいあいバスについて、中学生の部活動の活動時間に合っていないなどの声を聞くが、新しい取組みがあるのか。		

	議会	特に新しい取組みはない。部活動によって開始・終了時刻がばらばらであるため、全ての乗客に合わせることは難しい。地域公共交通会議においてバスのルート等を決めている。	回答どおり
	参加者	北陸新幹線京都延伸について、新聞報道等によると、京都仏教会や酒造組合が反対運動をしているが、反対の一番の理由を聞きたい。	
	議会	地下水への影響等を懸念する京都府民の声がある。今後も国交省の丁寧な説明が重要であるが、それだけが新幹線反対に結び付いているのかは不明である。	回答どおり

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第3班 班長 下中雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月31日（金） 19：30～21：00		
会場 / 地区	小浜コミュニティセンター		
出席議員	3班 / 下中雅之、川代雅和、佐野達也、上野一		
参加者（市民）	25名		
報告事項	<p>司会・班長：下中雅之 報告者：（北陸新幹線小浜・京都ルートについて）川代雅和 （地域公共交通の今後について）上野一 書記：上野一</p>		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	米原ルートの再考や費用対効果が報道されているが、北陸新幹線の現状はどうなっているのか。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	米原ルートについては、東海道新幹線の過密ダイヤやJR西日本の運行システムの違いから、米原駅での乗換えは困難とされている。JR西日本・JR東海の社長も否定的な見解を示しており、滋賀県知事や福井県知事も明確に拒否している。今後は与党内の検討体制が焦点となるが、引き続き小浜・京都ルートの推進を訴えていく。	
	参加者	埼玉県熊谷市の視察では、新幹線を生かしたまちづくりがどのように行われていたのか。	
	議会	新幹線通勤定期券の購入補助制度を調査した。3年間の継続補助を行っているが、利用者数や効果は想定ほどではなく、制度を継続するかは検討中とのことであった。小浜から京都まで19分で、新大阪まで38分つながれば、京都・大阪が通勤・通学圏となる。	
	参加者	国への要望項目に関連して、新幹線開業後のJR小浜線の位置付けと、今後の維持についてどう考えているのか。	回答どおり
	議会	JR小浜線には特急列車が運行されておらず、新幹線開業後も並行在来線には該当しないと認識している。第三セクター化されれば自治体負担が極めて大きくなるため、JRの路線として存続することを国に確実に認めてもらう必要がある。利用者の減少や経営の厳しさは認識しているが、JRから経営が切り離されないよう、国への要望項目として明記している。	

参加者	富山県高岡市の視察から得られた教訓は何か。	
議会	新幹線駅と在来線駅が離れて設置された結果、開業当初は新駅周辺に郊外型量販店が集積し、にぎわいを見せたが、現在はその勢いも落ち着き、空き店舗が見られる状況となっている。市街地が二分される中で、商業立地やまちづくりを適切にコントロールすることの難しさが確認できた。	回答どおり
参加者	敦賀開業後の観光誘客施策として、小浜方面への観光客誘導が図られてきたが、その効果は実際には小浜まで十分に波及していない。この現状をどう捉えているのか。	
議会	シャトルバスや周遊バスの試行は行われたが、利用者が少なく、継続するには課題がある。レンタカー利用も想定より少なく、小浜まで新幹線の効果が十分に届いていない厳しい現状である。	回答どおり
参加者	北陸新幹線の全線開業までに相当の時間を要する中、かつて検討された快速鉄道構想を再検討することで、京都までの通勤・通学を早期に実現できるのではないか。	
議会	若者が住み続けられる環境を整えるためにも、一日も早い新幹線着工を最優先に要望している。過去に検討された快速鉄道構想もあるが、現在は国家プロジェクトとして安定性の高い新幹線の実現に全力を注いでいる。	回答どおり
参加者	循環バスのルート設定は市民の要望によるものか。	
議会	現在は実証実験の段階であり、利用状況を確認しながら検討している。	回答どおり
参加者	観光振興について、観光客に勧める場所が蘇洞門やお寺などに限られている。新たな仕掛けは考えられないか。	
議会	福井県の「若狭湾プレミアムリゾート構想」に基づき、エンゼルラインの活用を強く要望している。山頂での宿泊施設整備など、民間との連携による活用案が検討されている。	回答どおり
参加者	高浜町では議員報酬の引上げや委員長手当の導入が検討され、このままでは小浜市より報酬が高くなる可能性がある。小	

		<p>浜市議会も定数を削減せず、報酬を引き上げるべきではないか。報酬の引上げにより立候補者が増え、選挙が活性化し、市政への市民の関心の向上につながると考えるがどうか。</p>	
	議会	<p>高浜町では、定数を2人削減することと引き換えに報酬を引き上げようとする動きがあるが、定数削減には慎重意見もある。小浜市議会議員の報酬は平成6年から約30年間据え置かれており、活動量や役割による負担の差もある。定数は現在17人で、過度な削減は多様な視点での議論を損なうおそれがある。定数を維持して報酬を引き上げることで議員活動に専念しやすくなり、若い世代の挑戦にもつながる。市民からの前向きな意見として重く受け止めたい。</p>	回答どおり
	参加者	<p>小浜駅前の通学路の安全対策について、強度の高い金属製のガードレールを設置して児童の安全を確保してほしい。</p>	
	議会	<p>現時点で正式な要望が市に届いていない可能性はあるが、児童の安全は最優先事項である。現場の状況や過去の設置基準を確認した上で、改めて回答する。</p>	<p><u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u></p>

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第3班 班長 下中雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年11月13日（金） 19：30～21：00			
会場 / 地区	国富コミュニティセンター			
出席議員	3班 / 下中雅之・川代雅和・竹本雅之・上野一			
参加者（市民）	22名			
報告事項	<p>司会・班長：下中雅之 報告者：（北陸新幹線小浜・京都ルートについて）川代雅和 （地域公共交通の今後について）上野一 書記：上野一</p>			
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	あいあいバスについて、利用者数、利用者のうち国富地区の利用者数および収支は。	【今後の対応】 回答どおり	
	議会	あいあいバスは年間約75,000人の利用者があり、国富地区を走る6号車の区間全体の利用者数は約2,400人である。市全体としての収支は費用が約1億1,000万円、収益が約1,000万円で、差引き約1億円のマイナスである。		
	参加者	あいあいバスが年間約1億円の赤字とのことだが、タクシー1回の利用料を5,000円とすると、2万回程度使用できる。予算を上手に使うよう検討してほしい。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>	
	議会	地域公共交通に関しては採算性だけを考慮してはいけぬ。タクシーの使い方においては小浜市のほうでも検討していくことだと思うので、この意見は小浜市に伝える。		
	参加者	高市総理大臣が就任し、与党は自民党と日本維新の会との連立政権となって、以前と状況が変わってきたが、新幹線について、新聞報道等以外の情報が分かれば教えてほしい。		
	議会	特になし。(把握していない)		回答どおり
	参加者	新幹線が先行して開業している埼玉県熊谷市と富山県高岡市の視察内容を踏まえ、市議会は何を目指すのか。		回答どおり
議会	熊谷市では、本市においても重要である、新幹線の定期券購入の補助制度について研修した。高岡市は、在来線の駅と新幹線駅が離れているため、駅と駅とをどう結ぶかという点から、駅間接続（シャトルバス等）の検討の必要性を感じた。			

参加者	新幹線整備の目的は観光か人口増か、お聞きしたい。	
議会	観光面の交流人口増加と定住促進の双方を期待している。	回答どおり
参加者	公共交通は高齢者の視点から考えているのか。また、運転免許返納者への支援を拡充してほしい。	
議会	市が取り組むことだけが公共交通ではない。報告した提言書の内容にあるとおり、地域の方々に運営することも公共交通であり、高齢者だけを対象にしたものではない。免許返納がしやすくなる施策と同時に、地域公共交通を充実しなければならない。	回答どおり
参加者	国富地区では水田の獣害が増えている。害獣の捕獲頭数は。	
議会	捕獲頭数は約 1,500 頭で、内訳はシカが約 700 頭、イノシシが約 300 頭、猿は約 150 頭である。令和 6 年度の獣害被害状況は市全域で 565.5 a であり、そのうち 230.6 a が次吉区と太良庄区である。	回答どおり
参加者	設置した金網柵の修繕にかかる費用の補助は。	
議会	金網柵は設置後 14 年以上が、電気柵は設置後 8 年以上が経過していれば新規の設置ということで、全額補助ではないが、補助対象となる。条件として既存の金網柵の撤去が必要になるが、撤去費用は補助の対象外である。	回答どおり
参加者	前市長と比べると、現市長はインフラ整備に興味がないように聞くが、現市長はインフラ整備をどう考えているのか。	
議会	地区要望に対しては、令和 6 年度より令和 7 年度のほうが多く施工されている。令和 6 年度は要望件数の 63%、7 年度は 68%が予算化されており、努力はしている。	回答どおり
参加者	国、県からの補助金の推移は。	
議会	例えば、獣害防止柵等の設置等への補助金が大幅に減っている。なお、狩猟・猟友会等、農業施策への予算は若干増えている。	回答どおり

	参加者	市の単独予算では厳しいので、市長から国や県に、より強く働きかけてもらえるように提言してほしい。	
	議会	市の単独予算では厳しく、市は国や県の補助金等、歳入予算の確保に努めている。	行政に伝える

令和7年12月19日 小浜市議会議長 竹本雅之 様

第3班 班長 下中雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月23日（木） 19：30～21：00		
会場 / 地区	松永コミュニティセンター		
出席議員	4班 / 富永芳夫、今井伸治、池田英之、武長由里子		
参加者（市民）	26名		
報告事項	司会・班長：今井伸治 報告者：（新幹線小浜・京都ルートについて） 富永芳夫 （地域公共交通の今後について） 池田英之 書記：武長由里子		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	市民の間では新幹線誘致への関心や熱意が十分に高まっていないように感じられる。地域の魅力を高めるための具体的なまちづくりの構想について考えを伺う。	【今後の対応】
	議会	令和7年度から新駅周辺エリアの基本計画策定事業を開始し、来年度中を目標に準備を進めている。パブリックコメントなどを通じて、市民の皆様からのご意見を積極的に取り入れていく方針であり、皆さんのご理解、ご協力をお願いしたい。	回答どおり
	参加者	本市には多くの観光資源が存在している。これらの資源を生かし、地域経済の効果を高めるためのPR戦略や具体的な取り組みがあるのか。	
	議会	新駅の設置場所については、現在のところ京都の駅の位置が確定していないため、小浜駅の具体的な場所もまだ決定できていない。市は新駅周辺エリアの基本計画策定を進めている段階であるため、パブリックコメントでぜひご意見やアイデアを届けてほしい。	回答どおり
	参加者	デマンド交通を実施する際に、どのようにコストと予算のバランスを取っていく考えなのか。	
	議会	コストと利便性の両面を考慮しながら最適なバランスを追求していくことが非常に重要だと考える。	回答どおり
	参加者	昼間をもっと小型のバスにしたほうがよいのではないかと。経費等に影響するのではないかと。	
	議会	経費には大きく影響しないと聞いている。	回答どおり

参加者	市民のニーズに合わせて利用が集中する時間帯を見極めるなど、バス運行の見直しが必要ではないか。	
議会	行政に伝える。	行政に伝える
参加者	小浜病院について、具体的にどの程度の赤字規模なのか。今後黒字に転換できる可能性はあるのか。加えて、こうした経営状況が続く中で、医療サービスの質の低下につながる懸念もあるが、どのように考えているのか。	
議会	無駄な支出による赤字は避けるべきであるが、公立病院ならではの事情がある点をご理解いただきたい。	回答どおり
参加者	後瀬山城跡の整備や公園の新設等について、トイレの整備が必要だと思うが、そういった要望を市に届ける方法はあるのか。	
議会	行政に伝える。	行政に伝える

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第4班 班長 今井伸治

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年10月31日（金） 19：30～21：00		
会場 / 地区	宮川コミュニティセンター		
出席議員	4班 / 富永芳夫、今井伸治、池田英之、武長由里子		
参加者（市民）	20名		
報告事項	司会・班長：今井伸治 報告者：（新幹線小浜・京都ルートについて） 富永芳夫 （地域公共交通の今後について） 池田英之 書記：武長由里子		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	新幹線小浜・京都ルートについて、国が「閣議決定する」とは、どのようなことを意味するのか。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	「閣議決定する」とは、「国として正式に決める」という意味である。	
	参加者	若狭ルートとはどのようなものか。	回答どおり
	議会	昭和48年の整備計画では、小浜から亀岡へ抜けて大阪に行く」と明記されている。それが若狭ルートである。	
	参加者	小浜から亀岡を経由して大阪につなぐルートでよいのではないか。	回答どおり
	議会	JR西日本は小浜・京都ルートを強く支持している。現状では小浜・京都ルート一本に絞って推進している状況である。	
	参加者	以前に遠敷近辺に調査が入っていたはずだが、閣議決定されても、それに意味はないということか。	回答どおり
	議会	小浜・京都ルートについては、実施計画の認可がなされて初めて、国が正式にこのルートを選択したと言える。	
参加者	地区内で調査などが行われる際には、受注者や発注者などの関係者を表示し、区長に連絡してほしい。簡単な看板や車のダッシュボードなどに明記してほしい。	行政に伝える	
議会	行政に伝える。		
参加者	県道本保平野線について、路面の状態が良くない。平野には産		

		業団地が新設される予定があるため、両側に歩道が整備されること要望したい。	
	議会	福井県に伝える。	行政に伝える
	参加者	広域斎場の整備の進捗状況は。	
	議会	現時点では具体的な候補地はまだ公表されていない。関係先から合意を得た後、完成までには更に5年ほどかかると見込まれる。	回答どおり

令和7年12月19日 小浜市議会議長 竹本雅之 様

第4班 班長 今井伸治

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和7年11月13日（木） 19：30～21：00		
会場 / 地区	雲浜コミュニティセンター		
出席議員	4班 / 富永芳夫、今井伸治、池田英之、武長由里子		
参加者（市民）	14名		
報告事項	司会・班長：今井伸治 報告者：（新幹線小浜・京都ルートについて） 富永芳夫 （地域公共交通の今後について） 池田英之 書記：武長由里子		
報告会における市民からの質問・要望内容	参加者	京都市会や京都市の近隣の町議会と小浜市議会の間で話合いの場を持つ予定はあるか。	【今後の対応】 回答どおり
	議会	そのような予定はないが、検討する。	
	参加者	小浜市や福井県としては、どうしても京都駅につなげたいという意向なのか。以前の亀岡を通るルートなどは、小浜市や福井県の立場として受入れは可能なのか。	回答どおり
	議会	小浜・京都ルートはJR西日本が強く望んでいるルートである。現在、京都駅に入る南北案と桂川案があるが、今はその2案のどちらにするかを国が検討している状況である。	
	参加者	小浜・京都ルートの実現を改めて強く主張し、速やかに対応できる体制を事前に整えておくことが重要ではないか。	回答どおり
	議会	今後も注意深く取り組んでいく。	
	参加者	市議会が京都市会に赴き、直接話合いを進めてみてはどうか。	回答どおり
議会	京都や関西の皆さんにまず現状を理解してもらえるよう努める。		
参加者	市街地循環バス実証実験の対象者には、事前に参加の承諾を得た人を選定したのか。1人当たりの輸送コストが4,000円から7,000円に達し、事業として赤字となると見込まれるが、黒字化できるのか。多くの利用者が「1回500円以内が望ましい」と回答し、事業化するには厳しい状況にあるが、それに意味があるのか。デマンド交通の実証実験は、年齢制限はあるのか。		

議会	移動手段がない方のために、1人当たりの輸送コストを4,000円台に抑えて、多くの方に利用していただけるよう検討する。デマンド交通の実証実験については、利用者の年齢制限は設けていない。	回答どおり
参加者	公共交通に関して行政視察に行った他の市町で、成功例はあるのか。	
議会	鳥取市が自治体ライドシェアを行っており、成功した事例であると認識している。	回答どおり
参加者	あいあいバスの件で、現在の国道162号を通るコースではなく、西津の旧道か海岸沿いの道路を通るコースにしてはどうか。	
議会	行政に伝える。	行政に伝える
参加者	市内の地下水は限りある資源であるので、浪費することがないよう、大切に使ってほしい。	
議会	行政に伝える。	行政に伝える
参加者	議会報告会を、もっと大きな会場で開催してはどうか。	
議会	検討する。	回答どおり

令和7年12月19日

小浜市議会議長 竹本雅之 様

第4班 班長 今井伸治